

## アシスト、「ENISHI」の「モニタリング最適化ソリューション」に 負荷テスト・ソリューションパック「負荷テスト eX」サービスを新設 ～ テスト工程から Web アプリケーション性能を測定し、 品質向上を強かに支援 ～



株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、取締役社長:大塚辰男、略記:アシスト)は、自社のITサービスマネジメント分野に関するノウハウと取扱製品/支援サービスを体系化し提供しているITサービスマネジメント実践ソリューション「ENISHI(えにし)」の「モニタリング最適化ソリューション」に、テスト工程からWebアプリケーション性能を測定、システム品質の向上を支援し、運用フェーズでの効果的なアプリケーション管理を実現する負荷テスト・ソリューションパック「負荷テスト eX」サービスを新設し、提供開始します。

システム構築期間の短縮化に伴い、効率よく手軽に実施できる負荷テストを支援するために、アシストでは負荷テスト・ツール「HP LoadRunner software」(開発元:米国Hewlett-Packard Company)を利用した「負荷テスト・ソリューションパック」を提供してきました。しかし、運用フェーズでの最適なモニタリング業務のためには、開発工程からシステム、特にアプリケーションのふるまいやウィークポイントを把握し、その挙動のモデル・パターンとなるデータの収集や、分析手法の確立が不可欠と考え、テスト工程における負荷テストに着目し、従来のサービスを大幅に拡張した「負荷テスト eX」を、「ENISHIモニタリング最適化ソリューション」の新サービスとして提供することになりました。

負荷テスト・ソリューションパック「負荷テスト eX」では、「HP LoadRunner software」による自動負荷テスト実施にあわせ、同じくアシストが提供するアプリケーション管理ソフトウェア「JENNIFER」(開発元:韓国JENNIFER SOFT, Inc.)を導入し、平均的なテスト工程で約1か月間、システム全体の応答速度やOSリソースなどの使用状況の分析に加え、アプリケーション個々の応答や傾向、SQLの実行速度など、その動きを詳細に記録します。そして、収集したデータを利用し、アシストが長年培ってきたノウハウを基にパフォーマンス診断を行い、運用でも活用可能なアシスト・オリジナル・レポートとして顧客に提供します。

負荷テスト・ソリューションパック「負荷テスト eX」には、以下の3つの効果的な特長があります。

1. インフラからアプリケーションまで、広いカバー範囲の結果分析を実現
2. 負荷テストの段階からアプリケーションの品質向上にアプローチ
3. 開発工程から運用段階へスムーズな引継ぎのための共通インターフェース

アシストでは、カットオーバー前のシステム品質向上およびカットオーバー後の効果的なアプリケーション管理に最適なサービスとして、負荷テスト・ソリューションパック「負荷テスト eX」を積極的に提案していきます。また、10月11日に開催されるアシスト主催の「システムソフトウェア One Day Seminar」では、「問題調査が1分で!? 負荷テスト時のアプリケーション情報を丸裸に!」(A-4セッション)と題して、システム負荷テストの重要性と、本サービスの紹介を行います。

### ◎「システムソフトウェア One Day Seminar」

日時:2012年10月11日(木) 16:15～17:00 (【A-4】セッション)

会場:明治記念館(東京都港区)

詳細および申し込みURL:<http://www.ashisuto.co.jp/event/ods201210/>

### ■負荷テスト・ソリューションパック「負荷テスト eX」について

#### ●概要

負荷テスト・ソリューションパック「負荷テスト eX」は、システム開発工程における、「負荷テスト」実施時に、システム応答やOSリソース、ネットワークといったシステム・インフラのパフォーマンスの取得に加え、個々のWebアプリケーションやそれに付随するSQL文の応答速度を測定、分析することにより、網羅的かつ詳細なサービスのパフォーマンス診断を行います。システムカットオーバー前の品質向上アプローチや、カットオーバー後の効果的なアプリケーション管理技法の実践として活用可能です。

●実施効果

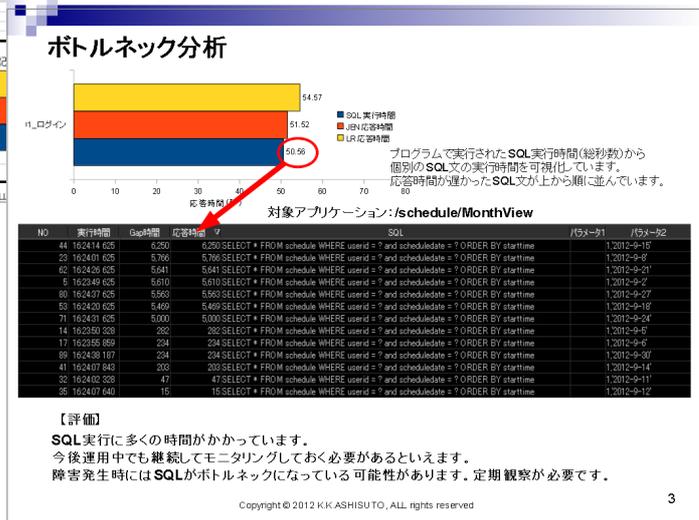
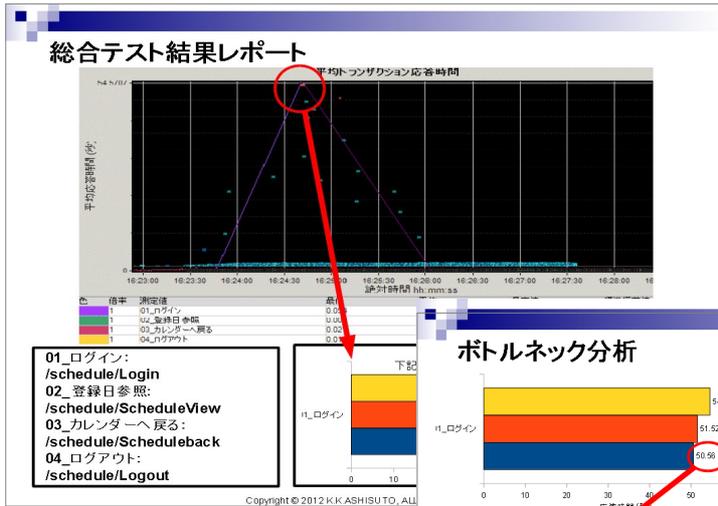
- ・システム高負荷時のインフラからアプリケーションにわたる挙動パターンを把握できます
- ・得られる分析結果により、アプリケーション品質の向上が可能です
- ・運用引継ぎにおける共通インターフェースとして利用でき、スムーズな移行を実現します

●実施期間： 標準的テスト工程にて1ヵ月、その後レポートを提出

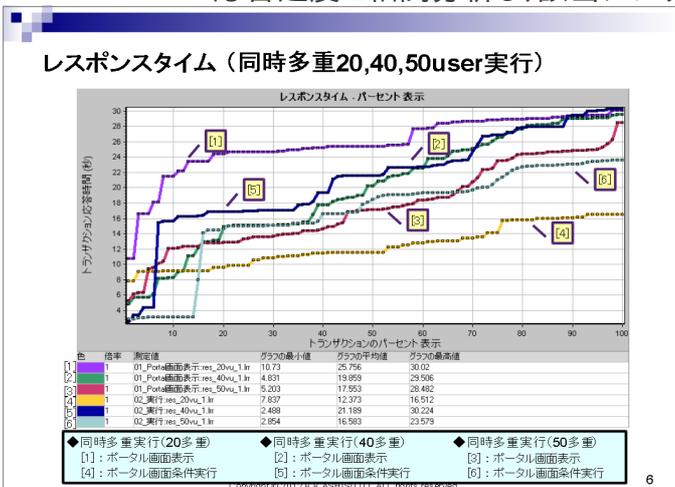
●販売価格： 3,000,000円(税別)～

●問い合わせ先： E-Mail:ssj\_info@ashisuto.co.jp

●レポート・イメージ



同時多重ユーザにおける負荷により応答速度を計測、アプリケーションごとの応答速度と相関分析し、該当アプリケーションにおけるSQL性能を特定



同時多重ユーザにおける応答速度の推移

**レスポンスタイム遅延アプリケーション一覧**

アプリケーション名	最大応答時間	最小応答時間	平均応答時間	コメント
/simulatux.jsp+(cmd=a03)	52.0秒	1.0秒	2.5秒	最大応答時間が平均に比べて明らかに遅いです。今後、実業務のレスポンスタイムが遅くなる可能性があります。
/simulatux.jsp+(cmd=a06)	50.5秒	0.2秒	0.7秒	
/simulatux.jsp+(cmd=a07)	50.0秒	0.1秒	0.3秒	
/simulatux.jsp+(cmd=a00)	36.0秒	15.0秒	25.0秒	平均的にレスポンスタイムが遅くなっています。今後さらに平均的に遅くなるようなら、見直す必要があるかもしれません。
/simulatux.jsp+(cmd=a01)	21.0秒	6.0秒	13.0秒	
/simulatux.jsp+(cmd=a02)	9.0秒	3.0秒	6.0秒	

※JENNIFERにて取得

※備考

- レスポンスタイム: 15秒以上
- レスポンスタイム: 3秒以上15秒未満
- レスポンスタイム: 3秒未満

Copyright © 2012 K.K.ASHISUTO, ALL rights reserved

アプリケーションごとの応答性能ランキング

## ■ITサービスマネジメント実践ソリューション「ENISHI」について

アシストは、各種運用管理ツールの取り扱いと年間5,300社以上の顧客企業への技術支援で培った経験、ノウハウ、事例をもとに、最小の設計と実装負荷で、高品質なITサービスを提供できる仕組みをITサービスマネジメント実践ソリューション「ENISHI」として体系化しました。「ENISHI」では、障害監視やバッチ・ジョブ運用の自動化などの「運用管理の基盤整備」から、定期報告／分析やインシデント管理などの「品質向上」、さらに事業継続計画策定やSLM（サービス・レベル・マネジメント）などの「最適化」に至るまで、IT運用管理に必要なプロセスや機能をすべてフレームワークとして体系化しているため、自社の取り組み状況と照らし合わせ、次に取り組むべくステップを明確にすることができます。また、取り組むべき課題に対して、IT運用管理の改善に必要なプロダクトと支援サービス、そしてノウハウを組み込んだ「イベント管理強化ソリューション」、「インシデント管理強化ソリューション」、「インフラ構成管理ソリューション」、「モニタリング最適化ソリューション」の4つのソリューションを、アシスト独自の「ENISHI実践ソリューション」として提供しています。

## ■株式会社アシストについて

代表取締役会長:ビル・トッテン  
取締役社長:大塚 辰男  
設立:1972年3月  
社員数:830名(2012年4月1日現在)  
本社:東京都千代田区九段北4-2-1  
URL: <http://www.ashisuto.co.jp/>

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを情報活用、運用、データベースのそれぞれの分野で支援しています。今年創業40周年を迎えたアシストは、ツールやサービスのアシスト独自の組み合わせにより「メーカーを超える価値の提供」を目指して活動しています。

## ■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報部 担当:田口  
TEL:03-5276-5850 FAX:03-5276-5895  
E-Mail:[press@ashisuto.co.jp](mailto:press@ashisuto.co.jp)

## ■「ENISHI」および「負荷テストeX」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト システムソフトウェア事業部 技術1部 担当:蝦名／矢野／坂田  
TEL:03-5276-5565 FAX:03-5276-5879  
E-Mail:[ssj\\_info@ashisuto.co.jp](mailto:ssj_info@ashisuto.co.jp)  
詳細URL:<http://www.ashisuto.co.jp/solution/enishi/>

- ※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ※ ニュースリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。